

【JST 特別企画：パネルディスカッション】

【イノベーション人材像からインフォプロの将来をうかがう】

大学の研究費獲得を中心とした研究や経営に資する活動を専門的に行う人材である URA (University Research Administrator) は立ち上がりから 10 年ほどが経って、1,000 人を超える規模に発展し、質の保証に関する取り組みなども本格化している。研究、研究者に役立ちイノベーションを促進するという意味においては、URA とインフォプロは同様のミッションを持ち、また、情報を高度に検索して分析してエビデンス提供や提案を行う上で必要なスキルも重なる。

JST の科学技術イノベーション人材育成部では、このような URA を含め、科学技術イノベーションの創出に果敢に挑む、多様な人材を育成するために、様々なプログラムを推進している。

今回、INFOPRO2020 の場を介して、イノベーション人材の育成と活動の現場からインフォプロへの気づきを与えることを目的とした話題提供を行う。また、インフォプロや URA の将来像を見通しつつ、求められる情報探索能力を中心としたスキルや、URA とインフォプロの違いや協働の可能性についても議論する。

【登壇予定者】

- 小林 正 科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 部長
- 山本外茂男 北陸先端科学技術大学院大学産学官連携推進センター教授
- 小河 邦雄 INFOSTA 理事 (検定試験担当)
- 山崎 久道 INFOSTA 会長
- 林 和弘 司会・モデレータ (INFOPRO 実行委員長)